

# この本を手にとって頂いた皆様へ

「環境学習の必要性はわかるけど、何から取り組めばいいか、分からない」  
「うちは都心部の園なので、周囲に自然がないから環境学習ができない」  
そんな幼稚園・保育所・認定こども園の先生の悩みに応えたくて、このアドバイスブックを作成しました。

この本で先生にお伝えしたいことは、「環境学習には色々なすすめ方、かかわり方がある。まずは出来そうなことから始めてみませんか?」ということです。例えば、先生がマイ水筒を持つようにする、など環境にやさしいことを何か一つ始めてみる。子どもは先生の背中を見て育つ事を考えたら、これも環境学習へのかかわり方の一つといえます。

兵庫県では、自ら「体験」「発見」し、自ら「学び」「行動」する環境学習を10年以上、進めています。平成26年度、27年度には「ひょうごエコっこ育成事業」を実施し、県内60園でふるさと環境体験活動や、保護者と連携したエコ活動など、他の園のモデルとなる先導的な保育に取り組んでいただきました。

アドバイスブックでは、兵庫県がこれまで蓄積してきた環境学習のノウハウや事例を踏まえ、先生の環境学習へのかかわり方を3つの「エコスイッチ」として提案しています。スイッチをひとつずつ「ON」にして部屋を明るくするように、「エコスイッチ」も出来ることから楽しくひとつずつ「ON」にすることで、自然を大切にできる子どもたちがたくさん育ってほしいな、と思います。

アドバイスブックが、エコっこ育成事業のモデル園はもとより、広く県内の幼稚園・保育所・認定こども園の先生に活用して頂き、環境学習をとおして子どもたちの確かな学びと豊かな育ちにつながることを期待しています。

最後になりましたが、アドバイスブックの作成にご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

平成29(2017)年3月

兵庫県 農政環境部 環境創造局 環境政策課

## [アドバイスブックの使い方]

### ● 園で環境学習に挑戦したい! 方は・・・

4ページであなたのエコスイッチは「ON」が何個かチェック!

→ ONの部分については、自信を持って子どもたちへの環境学習をスタート

→ OFFの部分については、本書の解説や事例を読んでみよう

### ● 他の園の事例を知りたい! 方は・・・

10ページからのECOアイデア集、16ページからの事例解説をチェック!

### ● 自然や環境学習をとり入れた園外学習をしてみたい! 方は・・・

60ページからの環境学習施設紹介をチェック!

姫路市立安室東幼稚園(32ページ)の事例も参考になるよ!

### ● 花や木、野生生物にふれることができる出前授業を園に呼びたい! 方は・・・

62ページからの兵庫県の環境学習プログラムをチェック!

# 目 次

## イントロダクション

- 環境学習ってなぜやるの？ なにやるの？ そして、先生に必要なチカラとは？ …………… 2
- ～今すぐ、あなたの環境学習をスタート！！～
- あなたの3つのエコスイッチ、「ON」は何個？？ …………… 4

## エコスイッチ1 生活者として環境に配慮した行動や態度を示す

- 生活者として環境に配慮した行動や態度を示す…………… 6

## エコスイッチ2 環境に配慮した基本的な生活習慣を育む

- 環境に配慮した基本的な生活習慣を育む…………… 8
- 明日から使える ECOアイデア集 …………… 10

## エコスイッチ3 意図的・系統的に体験や学習をデザインする

- ねらいを持って意図的・系統的に体験や学習をデザインする …………… 14
- 環境学習の展開 ～「ひょうごエコっこ育成事業」モデル園の実践事例から～
- ・近所の川を子どもたちの「ふるさと」に！（神戸市立青山台こぼと幼稚園） …………… 16
  - ・わくわくお米作り体験！春夏秋冬（社会福祉法人かすぎ野認定こども園西脇こども園） …………… 24
  - ・遊びを通じて子どもに「もったいない」を伝える（姫路市立安室東幼稚園） …………… 32
  - ・都会の子どもたちに「ふるさと」の自然で遊び込む経験を！～雑草園プロジェクト～  
（学校法人あけぼの学院認定こども園武庫愛の園幼稚園）…………… 40
- 実践園の園庭を解説！園庭の環境構成や工夫点の紹介と観察ポイント・活動の発掘
- ・園庭の自然や栽培植物との関わりから「いのち」を感じよう（芦屋市立伊勢幼稚園） …………… 48
- 〈コラム1〉 園庭で「いのちを感じ取る」ことから始めよう
- 園庭での自然体験活動の視点を見直す—…………… 50
- ・地域の生きものが棲む池「なかよし池」で自然体験を積み重ねよう・深めよう  
（神戸市立あづま幼稚園） …………… 52
- 〈コラム2〉 園庭の環境づくりの作法
- 野生の生きものでにぎわう水辺づくりに挑戦してみよう…………… 54

## エピローグ

- 環境学習あれこれ座談会…………… 56

## 付 録

- 兵庫県環境学習施設…………… 60
- 兵庫県の環境学習プログラム…………… 62

# 環境学習ってなぜやるの？ なにやるの？

## 1. 環境学習が必要なワケ

### (1)地球が危ない？！

世界の平均気温は、この130年間で0.85℃上がりました。たったそれだけ？と思ったら大間違いです。平均気温が1～3℃あがると、気候が変わり、野生生物の30%が絶滅の危機にさらされるのです。

日本人が出すゴミの量は1日に一人あたり947グラム(平成26年度)です。全国のゴミを1年分集めると、25mプール約42万杯分(4,432万トン)(平成26年度)になります。今のペースでゴミを出し続けるとゴミを埋め立てる全国の最終処分場はあと20年で一杯になると言われています。

温暖化、ゴミ問題の他にも生物多様性の危機や水や大気の汚染など、世界中で環境破壊が起っています。このままでは、空気、水、食べ物、資源、安定した気候など地球環境のバランスが崩れ、未来の子どもたちが地球に住めなくなる可能性が出てきています。

今、地球で何が起っているのかを正しく学び、一人ひとりができることを考え、実践していかなくてはなりません。

### (2)環境に配慮した暮らしを実践できる子どもを育てる

深刻な環境破壊は人々の健康、安全、幸福な生活を根底から脅かします。環境に配慮した暮らしを実践できるようになることは、未来に生きる子どもたちが、安全で幸福な生活を送るために、必要なことなのです。

## 2. 環境学習で学ぶコト

### (1)環境問題の本質

環境問題の本質は「エコロジカルカタストロフィ」(生態系の破局)とされています。本来、人間も含めてすべての自然のいのちは、多様な自然のモノやいのちが織りなすつながり(生態系)の中でいかされています。しかし、そのつながりが私たち人間の自然に対する無関心、無理解、無責任な行為によって切られ、結果的に起っているのが環境問題なのです。環境の悪化を食い止めるためには、人間と自然との関係を問い直すことから始めなくてはなりません。

### (2)環境学習の目的と役割

環境学習の目的は「環境に配慮した暮らしが実践できる人を育てる＝環境に配慮した行動化・習慣化」です。

環境問題は時代と共に変化しています。おそらく10年後には新たな環境問題が起きているでしょう。そのような中、環境に配慮した暮らしが実践できる人を育てるには、「電気をこまめに消す」「ゴミを分別する」などの行動規範を示すだけでなく、先生と子どもたちが環境問題を自分たちの問題ととらえ、「環境に配慮した暮らし」とは何かを考え、行動につなげていくことが大切です。

そのためには、環境学習は、家庭や地域での生活の中で、子どもたち自らの「発見」や「気づき」を支援し、子どもの感性や価値観に届くものでなくてはなりません。

そのような環境学習を実践するために、園の生活の様々な場面を通じて、以下の3つの取組を試みる必要があります。



# そして、先生に必要なチカラとは？

- ①自然の直接体験を通じて、私たちのいのちを支えるかけがえのない自然(地球)に対する深い愛情を育む
- ②多様な自然のモノやいのちが織りなす仕組みやそこで人間が引き起こしている問題についての理解を促す
- ③そしてそれらを日々の暮らしや人生の基本的な考え方(価値観)に結びつけていく

## (3)園での環境学習をするときの2つの視点

- ①自然の直接体験や学習を基本に据えましょう  
環境問題の原因が、私たち人間と自然とのかかわり方にあるとすれば、環境学習を進める時には、自然体験や学習をその基本に据えなくてはなりません。自然の仕組み、人間にとっての自然の意味を感覚的・知的(生態学的)に深く理解する体験や学習を通じて、環境学習は子どもたちの価値観をはぐくみ、子どもたちの行動を促していくことを目指します。
- ②意図的・系統的アプローチを心掛けましょう  
「遊ばせておけば保育になるのか」と議論になることがあります。環境現場では「自然の中にいれば環境教育になるのか」と言われます。ねらいを持って、学習・教育の場をデザインし、意図的・系統的に子どもたちの知識と感性を育てていくことが大切です。

## 3. 環境学習をする先生の3つの「かかわり方」

幼稚園や保育所、認定こども園で環境学習を進めていく上で、先生として以下の3つのかかわり方が想定されます。

- ①生活者として環境に配慮した行動や態度を示すかかわり方

自然の大切さを認識した上で、照明はこまめに消す、水を出しっぱなしにしない、ゴミはちゃんと分別して捨てる等、先生自身が環境に配慮した暮らしぶりを園だけでなく、プライベートでも当たり前に行う。

- ②子どもたちの環境に配慮した基本的な生活習慣を育むかかわり方

日々の園の生活の様々な場面で、資源を大切にするなど環境に配慮した暮らしを子どもと一緒に実践する。

- ③意図的・系統的に体験や学習をデザインするかかわり方

園で行っている様々な活動や行事を環境学習の視点で見直して提供したり(例:姫路市立安室東幼稚園の事例32ページから)、新たな体験や学習の機会を提供する(例:神戸市立青山台こぼと幼稚園の事例16ページから)ことで、自然に対する愛情やその仕組みについて気づかせる。

このハンドブックでは、環境学習を進める先生の3つのかかわり方を「エコスイッチ」と名付けました。スイッチを一つずつ入れてだんだん部屋を明るくしていくように、3つのかかわり方のうち、できるところから少しずつ始めることで、あなたの園でも環境学習にチャレンジしてみましょう。

3つのエコスイッチ(かかわり方)のうち、あなたは何個「ON」ですか??

次のページのチェック表で早速確認してみましょう。



# ～今すぐ、あなたの 環境学習をスタート!!～

## あなたの3つのエコスイッチ、「ON」は何個??

環境学習は難しい??そんなことはありません!

例えば、先生が毎日の生活の中で楽しく環境に配慮して行動を始めることも、子どもが先生の背中を見て育つことを考えたら、環境学習へのかかわり方の一つなのです。

あなたが既に始めている、もしくは、今すぐにでも取り組めそうな環境学習へのかかわり方(エコスイッチ)は何でしょうか?簡単な質問で楽しくチェックしてみましょう。そして、もし、まだ実践していないかかわり方(エコスイッチ)があれば、このアドバイスブックを参考に新たにチャレンジしてみましょう。

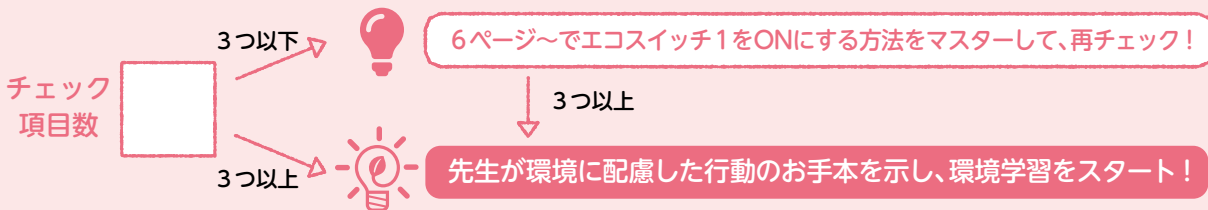
エコ  
スイッチ

1

### 生活者として環境に配慮した行動や態度を示す

環境学習に取り組むには、まず先生自身が自然(地球)を大好きで、環境にやさしい生活を当たり前のように実践していることが大前提。先生が率先して実践しましょう。

- 園や自宅の周りの自然が、春夏秋冬でどのように移ろい変わっているか知っている
- 自分自身が自然に興味を持って、自然体験をする機会を持つようにしている
- 照明はこまめに消す、水を出しっぱなしにしない、ゴミはきちんと分別するなど、園や私生活で環境に配慮した生活を日々心掛けている
- 地球環境が大変なことになっていると感じている
- 生態系や生物多様性、持続可能性など、自然や社会に関心を持ち、自分の言葉で説明できる



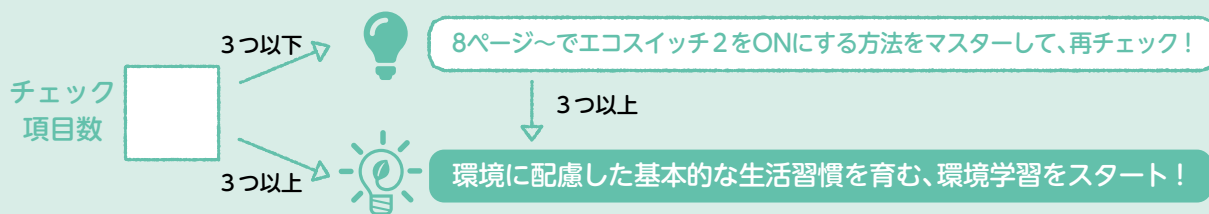
## エコ スイッチ

# 2

### 環境に配慮した基本的な生活習慣を育む

環境学習の目的は環境に配慮した暮らしが実践できる人の育成です。子どもと一緒に園での生活を、環境に配慮したものに少しずつ変えていきましょう。

- 水を大切に使う、CO<sub>2</sub>排出量を減らすなど、環境に配慮した生活習慣の具体的なイメージがある
- 子どもや保護者の園生活で「環境にやさしくないな」と思うことがある
- 子どもや保護者の園生活を環境に配慮した行動に変化させるアイデアを持っている
- 環境に配慮した園生活について先生たちでアイデアを出し合ったり相談している
- リサイクルやゴミの減量など、他園のエコ活動の実践事例の収集に努めている



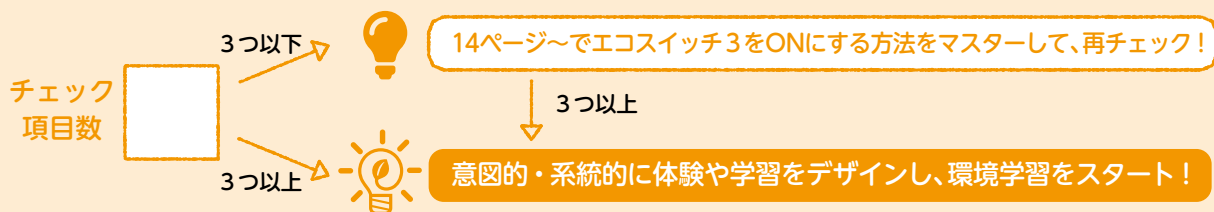
## エコ スイッチ

# 3

### 意図的・系統的に体験や学習をデザインする

環境学習では、体験を通して子どもが「気づき」「考え」「行動する」ことが大切です。「ねらい」を明確にし、見通しをもった保育をすすめましょう。

- 環境学習を通じて、子どもに気づかせたいこと、身に付けさせたいことを明確にしている
- 園内外の環境を環境教育の観点で見直し、園庭マップ等を作成している
- 「ねらい」を実現するために必要な「望ましい体験」の場を整えるよう工夫している
- 環境学習のねらいやテーマを先生たちで話し合い、指導計画に位置づけている
- 環境問題や環境保全、環境学習・教育について積極的に情報収集、自己啓発に努めている



# 生活者として環境に配慮した 行動や態度を示す

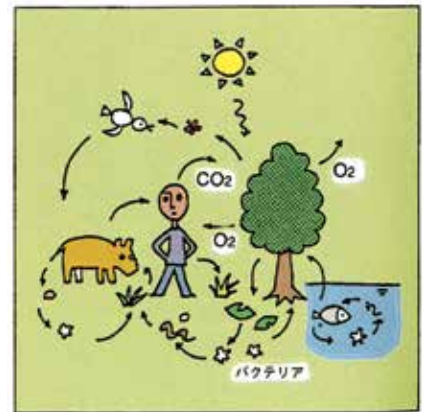


## その1：自然のお陰で私たちがあることをわかっておきましょう！

私たちが環境のことを大切に考えて暮らしていこうとするためには、私たち人間にとっての自然の意味、大切さをわかっておく必要があります。

今日の園の昼ご飯の時、どんな料理がテーブルの上に並んでいましたか？いろいろな加工されたり、食品名や献立名がつけられたりして、もとの姿が想像しにくいのですが、もとは植物の根・茎・葉であり、動物の肉であり生き物なのです。そしてそれらは太陽の光のエネルギーの下で緑(植物)が営む光合成によって作り出される(空気中の二酸化炭素と土中の水分が使われます)糖分、それに始まる食物連鎖の賜物なのです。また、その副産物が私たちが生きていく上でひと時も欠かせない酸素です。食事の時にいただく水も太陽の光のエネルギー熱によって地球上に生み出される水の循環によって得られるのです。

このように私たちの暮らしのすべての場面が、永い年月をかけてでき上がった自然のしくみやそこで生み出された恵みによって支えられています。真に自然のお陰なのです。今でも時おり、朝、まずはお天道様に手を合すお年寄りを目にするがありますが、もっと自然に近い暮らしをしていた時代の名残でしょうか。そんな自然に対する無条件の感謝を忘れないようにしたいものです。



出典：高月 紘 著「絵コロジ－ 地球にやさしく暮らすための絵本」 合同出版株式会社 2002



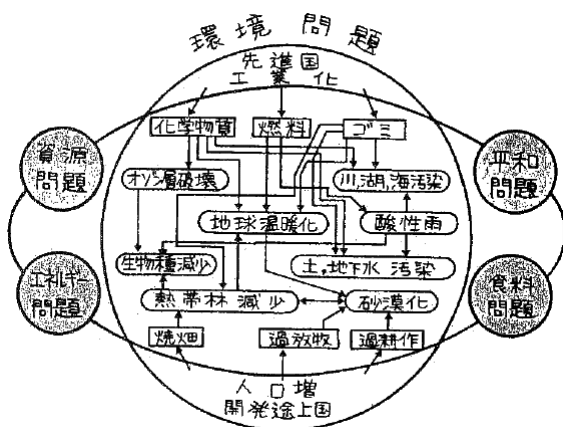
## その2：かけがえのない自然に対して私たちが何を仕出かしているかわかっておきましょう！

そんな自然のお陰とわかりつつも、私たち人間が行っていることと言えば…。

人の数もさほど多くなく、人間の活動が今程激しくなかった頃には、自然の恵みに頼って、採る、作る、使う、捨てる暮らしぶりができ、自然を浄化する力、復元する力のもとで大きな環境問題に至らずに済んでいました。

しかし、人口が大幅に増え、さらに便利な生活を追い求める中、人間の活動が激しさを増し、自然の修復力をはるかに越え、様々な環境問題を引き起こすことになってしまいました。今や地球全体の環境に影響を及ぼすところまでできています。

左図にあるように個々の環境問題は相互につながっているだけではなく、平和、食糧、資源、エネルギー等人類がかかえている大きな問題とも深く結びついており、人類やそれを支える自然の行く末が危ぶまれています。もちろん、その原因は私たち、とりわけ先進国に住む人々の大量生産、大量消費、大量廃棄を良しとする暮らしぶりにあります。地球(自然)に生かされている一人として、そのことを肝に銘じておきましょう。



環境問題とほかの問題との関係

出典：浦野紘平 著「みんなの地球－環境問題がよくわかる本－」 オーム社 1992



### その3：私たち一人ひとりにできること、やるべきことがあることをわかっておきましょう！

地球温暖化、熱帯雨林の減少など私たちの日常生活から遠く離れたところで起こっている現象で、私には手の施しようがないことのように思われたり、私一人が何かやっても高が知れていると考えるかもしれません。

しかし、「私ひとりぐらいなら」と私たち先進国と言われる国に住む一人ひとりのあまりにもぜいたくな、生態系(自然のしくみや働き)を無視した行動(暮らしぶり)が、様々に絡み合った環境問題の大きな原因の一つでもあります。

ということは、私たち一人ひとりが自然(地球)のお陰を心に留めて自然と調和した生活に変えていく、同時に環境に大きな負荷を与えている社会システムを変えていくために行動することでできることがあるということです。

例えば

- 使い捨て生活を見直す
- 環境にやさしい商品を選ぶ
- フリーマーケットに参加してみる など

自分なりにできることをリストアップしてみましょう。



こども環境白書  
(環境省)

ここからダウンロード！  
→ <https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/kodomo.html>

これを  
参考にすると  
いいよ！



こどもエコチェック手帳 (H28年度版)  
(兵庫県地球温暖化防止活動推進センター)

ここからダウンロード！  
→ <http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/center/ecocheck/>

「COOL CHOICE 未来のために、いま選ぼう。」  
→ <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/index.html>

私のエコアクションリスト

---

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_



# 環境に配慮した基本的な生活習慣を育む

環境に配慮した基本的な生活習慣を育むことで1日・1ヵ月・1カ年と、園での生活を時間の流れでとらえた時、生活の様々な場面が環境学習・教育と直結していることに気づかされます。例えば、登・降園時の通園バス。乗降時はアイドリングストップを徹底したり、月に1日「ノーマイカーデー」を設けて、道すがらの自然探索を含めた登園の推奨など、視点を少し“環境”にシフトさせる工夫をするだけで、今ある幼稚園・保育所・認定こども園での日常を環境に配慮した暮らしに変えることができます。

このように、日々の園の生活の中で環境に配慮した生活を積み重ね、習慣化を図り、環境に対する感性や意識を育んでいこうというのが、エコスイッチ2なのです。

以下、その具体化の手順とその際に大切なポイントについて説明していきます。

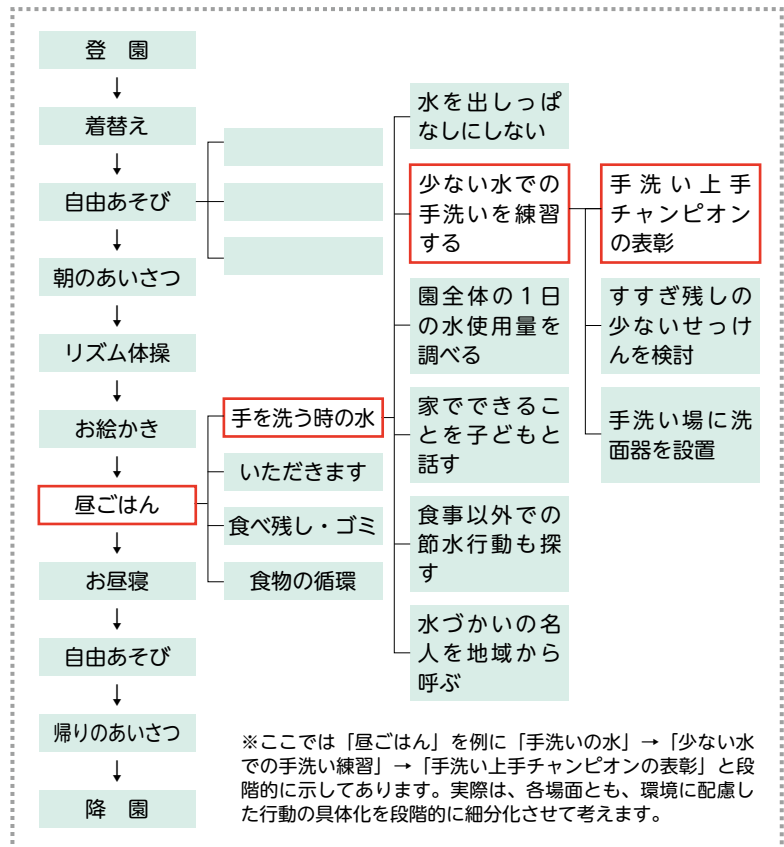
## ステップ 1

登園から降園までの1日の生活の流れを書き出す。その上で各生活場面を環境の視点でさらに細分化する。



## ステップ 2

細分化したそれぞれの場面で、環境に配慮した「やりたい行動」、「できる行動」を書き出す。



## ステップ 2のポイント

細分化されたそれぞれの生活場面での環境に配慮した行動を洗い出す際のエコ動詞10キーワード：

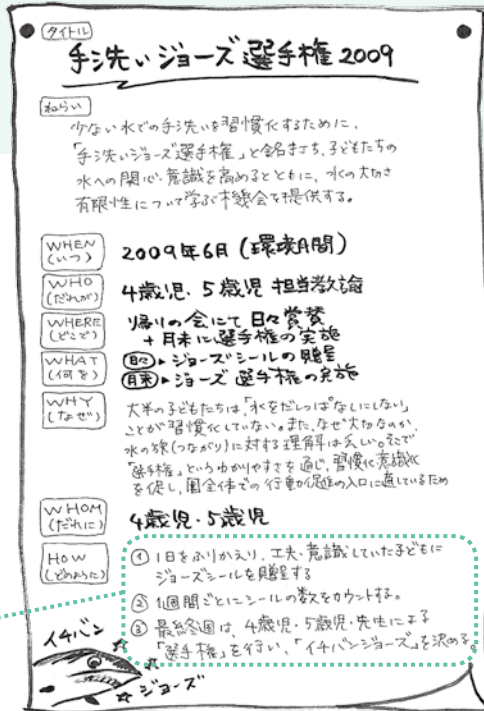
1. へらす：ゴミを／モノを／欲を…
2. ふやす：酸素(緑)を／エコマインドを…
3. つかう：長く／もう一度／代々…
4. つくる：買わずに／材料から…
5. なおす：捨てずに／買わずに…
6. えらぶ：エコ商品を／自然素材を…
7. すてる：分別して／考えてから…
8. ゆずる：人に／贈られたモノをまた…
9. やめる：使い捨てを／迷ったら…
10. きめる：実行することを／やめることを…

## ステップ 3

やる気を引き出し、継続・習慣化を促すためのしかけを考える。  
「やれたらいいね」「いつかやりましょう」では「絵に描いた餅」に。実行に移すために、アクションシート(活動計画)のような形にし、かかわる人たちで共有しましょう。

### 【やり方アイデアあれこれ】

- ・シールを貼る
- ・スタンプを集める
- ・手帳(コレクション)
- ・表彰 ・メダル ・絵本にする
- ・発表する ・ ・ ・ etc.



### アクションシートの作成

何をどのように行うかという骨格が見えたら、左図のようなアクションシート(6W1H(Who, Whom, What, When, Where, Why, How)を記載した活動計画)を作成しましょう。こうして文字化することは、計画内容が明確になるとともに、かかわる人たちの共通言語づくりになります。

アクションシートが完成したら、あとは実施するのみです。とはいえ、よほど意識しなければWHAT(何を)+HOW(どのように)は、できること(いつもやっていること・簡単なこと)に収まりがちです。言い換えると、WHAT+HOWが魅力的な活動にする鍵を握っているのです。

アクションシートを記入したら、第三者の意見を聞いてみましょう。「面白そう」、「すてき」といった反応が返ってこない時こそチャンスです。活動を魅力的にするアイデアが眠っているかも知れません。



### ステップ 3のポイント

やる気を引き出し、継続・習慣化を促すための視点あれこれ

#### 1. 園として環境にやさしい園づくりをすすめる事にして、エコな生活スタイルを当たり前にしておく

やる気を引き出す以前に、「地球にやさしい園を目指している」ことを園で決め、「この時間にはこれをやる」を当たり前にする。例えば食事の後片付けの仕方、ゴミの分別のやり方等

#### 2. オリエンテーション(動機付け)をする

「何のためにやるのか」を、絵本、紙芝居、ポスター、パペットなどを使って子どもたちに分かってもらい、子どもたちのやる気を引き出す。

#### 3. がんばり目標をかかげる

「何をどのくらい達成するか」回数、量、人数など少し頑張れば達成できるところに設定し、先生も子どもも分かっておく。

#### 4. 役割・責任・称号を与える

やることにしたエコな行動、活動する際のリーダーまたは、モニター役をつくり、称号(例:エコキャプテンなど)をつけ、交代でやらせよう。

#### 5. ステージを設定する

取り組むエコな行動にちなんで、やる気になる・なりきるために遊び心に富んだ小道具や舞台(例:エコキャプテンマークなど)を整える。

保育の考え方、発達のメカニズムに詳しい先生方、知識や経験の発揮のしどころです！皆さんの素敵なアイデアを考えてみてください。

#### 6. まねしたい気持ちにする

先生がちゃんと照明を消す、水を止める、愛用の箸やハンカチを使うなど、エコな行動を率先して楽しく行い、子どもたちをその気にさせる。

#### 7. 成果が見えるようにする

一人ひとりやグループ、全員でやったことの成果をグラフにする、シールを貼るなどで見える化、子どものがんばりがわかるようにする。

#### 8. 認められたい気持ちに応える

一人ひとりやグループ、全員、様々な場面をとらえて褒める、紹介する、ほうび(例:シール、スタンプなど)を与える。

#### 9. 保護者のサポートをいただく

園で子どもたちが取り組んでいることを保護者に伝え、子どもたちを励ましたり褒めたり、家でも一緒にやらせたり、協力を仰ぐ。

#### 10. 地域と協働してみる

地域の一斉清掃やキャンドルナイトのイベント等、園外に出て一緒に活動したり、賛同して園でやってみたりする。

# 明日から使える ECO アイデア集

身近な生活の中で、ちょっとしたアイデアで楽しく「エコ」に取り組んでいる園がたくさんあります。ここからはそんなすてきなアイデアを一挙大公開！みなさんの園でもぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

あんなもの！  
こんなもので？

## 廃材で迷路作り

学校法人七松学園認定こども園七松幼稚園

段ボールつなげたら  
大きな迷路ができるで～！

段ボールや、お菓子の箱など、「ゴミ」がすてきな  
遊びの材料になることに気づきました。

これトンネルにできるなあ！



各家庭で廃材がでると、「これ幼稚園にもって  
いく！」「これあそこにも使えるな！」という子ども  
たちの声が聞こえてきました。  
廃材を使うことで、より創造的に取り組めるよ  
うになりました。



★さらに詳しいことは平成26年度エコっこ事例集 p51へ！

ママたちの  
てづくり！

## エコ人形劇

豊岡市立出石幼稚園

PTA役員さん  
手作りの作品！

人形劇をとおして、楽しく「エコ」につい  
て学びました！

「エコっこちゃん」に、  
ゴミの捨て方も教えて  
もらいます。



資源の大切さを感じた子どもたちは、「お水出  
しっぱなしにしたらだめやで」と声をかけあつたり、  
家庭でもお買い物に行くときは、「エコバッグ  
持ってる？使ってるね」と言うようになりました。



★さらに詳しいことは平成27年度エコっこ事例集 p143へ！

アイデア  
勝負！

## エコ夏祭り！

社会福祉法人青垣福祉会  
認定こども園あおがき

p56 ～の座談会も  
みてね！

自分たちで考えた楽しい「エコ」を  
披露しました！

乳酸菌飲料の容器や、  
ペットボトルのキャップで  
飾りつけたよー



ペットボトルと新聞紙で  
エコポーリング！

「これ使えるんちゃう？」「こうしたら楽しいや  
ん！」など、声を掛け合いながら、子どもたちが進  
んで廃材の利用や、分別の仕方などのエコ活動に  
ついて考え、楽しく遊べる方法を編み出しまし  
た。



★さらに詳しいことは平成27年度エコっこ事例集 p175へ！

火曜日に  
家から持参!

## 「ざつがみ」を集めよう!

加古川市しかた子ども園

ティッシュのフィルムは  
はがしてから捨てよなー!



継続的な回収で、親子でリサイクルを  
考える機会が増えました!

### 保護者の声

- 子どもがあまりに言うので、  
家族みんなが気になるよう  
になりました。
- ゴミ箱の横にざつがみ袋を  
置いておくと、子どもが自分で  
分別しています。



しかた子ども園エコキャラクター  
「ざっくん」

今日もいっぱい  
集まったなあ〜!



★さらに詳しいことは平成27年度エコっこ事例集p89へ!

一年をとおして  
地域の方と  
おそうじ!

## 岡場駅クリーン作戦

神戸市立有野幼稚園

p56〜の座談会も  
みてね!

枯れたお花を摘むと、  
また新しいお花が  
咲いてくるんだよ



五感で季節の移り変わりに気づいたり、  
地域がきれいになる喜びを感じて  
います!

繰り返し清掃活動を行う中で、「秋は葉っぱがた  
くさん落ちているね」と季節の変化に気づいたり、  
普段のお散歩でもゴミに気づくようになるなど、  
自分の住んでいる地域を大切に思う気持ちが育ち  
ました。

軍手も自分でつけられる  
ようになったよ。  
クリーン作戦がんばるぞ〜!!

こんなに  
いっぱい  
集まったよ!



へえ〜! そうなんや!

★さらに詳しいことは  
平成27年度エコっこ事例集p23へ!



加西市立賀茂幼稚園 園長先生おすすめの絵本

## 「もったいないばあさん」

著：真珠まりこ 出版：講談社

「もったいない」って、どういう意味? もったいないばあさんが、今日もぼくの  
家にやってきた。ぼくが捨てようとした物で、いろんなことをしてくれるんだ!  
物を大切にする心が自然に育つベストセラー絵本。

絵本を読んでから、「水、出しっぱなしにしたら、もったいない  
で!」「この紙、まだ、使える!」等、あちらこちらから気づきの声  
が聞こえてくるようになっていきます。

物を大切にする合言葉・・・「もったいない!」・・・が、子ども  
たちの中に広がってきています。



合言葉は  
もったいない!

## さつまいも まるごと 活用術

芦屋市立伊勢幼稚園

P 48 ~の園庭解説も  
みてね!

はっばのおふとん  
あたたかいよ。



自分たちで大切に育てたさつまいも。  
捨てるどころなんて  
すこしありません。

おいもをおいしくいただくのはもちろんのこと。はっばはうさぎさんにあげたり、こおろぎさんのおうちにプレゼント。つるは佃煮にして食べたり、リースにしたり、なわとびに使ったり。「もったいない」精神が根付いている子どもたちは、なんでも大切にします。

★さらに詳しいことは平成27年度エコっこ事例集p51へ!



うさぎさん、はいどうぞ。

え!生ゴミが  
肥料になるの?!

## 「段ボールコンポスト」をつくろう!

三田市立高平幼稚園

これから  
どうなるのかな??

毎日観察することで、食べ物が土に還る、  
自然の循環を感じました。

できあがった土に、チューリップ  
の球根を植えました。春には  
きれいなお花が咲きますように…



最初は「生ゴミを肥料にするなんて、そんなことホンマにできるん?」と半信半疑だった子どもたちも、毎日かき混ぜる中で、生ゴミがどうやって変化していくのか、期待を膨らませていました。あわせてゴミを減らすにはどうすればいいのかな、ということもみんなで考え合いました。



🍎 今日りんごの皮を  
いれてみよう!



★さらに詳しいことは  
平成27年度エコっこ事例集  
p63へ!

家族みんな  
でエコ生活

## みんなでエコカルタ 朝来市立竹田こども園

親子で一緒に、環境について楽しく  
考えることができました!

みんなでエコカルタ大会や~!



「エコってなんだろう?」冬休みに、親子で考えてもらいました。子どもたちは、お父さんお母さんといっしょに取り組めたことがとっても楽しかったようです。



- 🍎 いものは ふくろをもって でかけよう
- 🍷 とへやで 家族だんらん テレビみる
- 🍎 たいせつに ぼくも地球も ひとつだけ

★さらに詳しいことは  
エコランドにゅーす第9号  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/documents/27news9.pdf>  
をご覧ください!

分別マスターに  
なろう！

## 走れ！エコレンジャー

姫路市立高浜幼稚園

日頃から、空き缶の回収を  
おこない、リサイクルを  
意識付けました。



運動会の親子競技で、  
楽しく「分別」を学びました。

身の回りのものを手にとって、「こん  
なところにもプラマークがついてる！」  
「お父さんが飲んでるビールにアルミ  
マークついてた！」と、「分別」に興味を  
もつようになりました。

★さらに詳しいことは  
平成27年度エコっこ事例集p125へ！



これは燃えるゴミかなあ？  
リサイクルできるものかなあ？



目頃感じている  
ことを劇に！

## 劇「水のぼうけん」 社会福祉法人千草福祉会千草保育所

「水は循環している」「川を、海をきれいにしよう」  
子どもたちからのメッセージを伝えました。



お散歩をしていると、ゴミや洗剤で汚された川を発見し、危機感を覚えた子  
どもたち。なんとか大人に伝えようと、子どもたちでお話を考え、発表会で披  
露しました。

### Story

空から降ってきた雨は、山、川、海を流れ、太陽にあたためられて  
蒸発し、水蒸気に変身します。水蒸気は空で冷やされて、雲となり、  
また雨に変わります。

そんな中、人間たちがゴミや油などで川を汚すと、汚い雨が降り、  
生きものや植物が困ってしまいます。

「川にゴミを捨てないで」「川や海をきれいにしよう」と、大人へ  
メッセージを送ります。



★さらに詳しいことは  
千草保育所 松山施設長へお問い合わせください！  
TEL：0799-22-6600

幼稚園でも  
おうちでも。

## みんなでまもろう エコ標語 赤穂市立赤穂西幼稚園

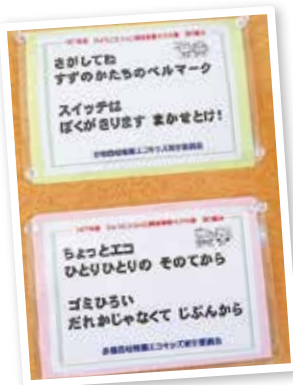
いつでも どこでも 普段の生活から  
エコに気をつける子どもたちが育ちました。

「水出っぱなしあかんで」「おばあちゃん、冷蔵  
庫あけっぱなしにしてる！気をつけなあかんで」  
など、日頃から気をつけるようになりました。子ど  
もたちが言うことで、保護者の方々にも  
エコの意識が広がっています。

親子で考えたエコ標語をステッカーに  
したよ。家と祖父母宅にも配布！

★さらに詳しいことは平成27年度エコっこ事例集p131へ！

よく見える所に標語を貼り、  
みんなで声をかけあっています！



# ねらいを持って意図的・系統的に 体験や学習をデザインする



## 環境とのつながり、人とのつながり

ねらいを持って意図的・系統的に環境学習を進めるには、まず子どもの生活と環境がどのようにつながっているか、また周りにいる人々とどのようにつながっているかを考える必要があります。毎日、何げなく通っている道のかたわらに何があって、それが自分たちの生活にどのようにつながっているかを思い描いてみましょう。そうすると、何かに「気づく」ことがあるはずです。



## 「気づく」「拡げる」「深める」

今まで気にしなかった川の流れや、道ばたに生えている雑草、近所のスーパーの店頭にある回収ボックスなど。意外と、近くに豊かな自然のめぐみや、環境に配慮する人々の取組があっても、意識しない限り気づかないことが多いのです。しかし、一度目を向けてみると、それらのものが私たちの生活につながっていることに気づかされるのです。それは何も特別なものでなくても良いのです。私たちは生きている限り、周りの自然や環境に生かされています。生活のそこかしこに、気づきへのヒントがころがっているでしょう。私たち大人が「気づく」ことで、子どもたちの「気づき」を促すことができます。そこに指導者の意図性が発揮されます。

気づきが私たちの中に生まれると、そこに「なぜだろう？ どうなっているのだろう？」といった疑問が出てきます。そのことについて「もっと知りたい」という意欲も湧いてきます。そこで実際に見に行ったり、調べたり、試したり、体験したり、人にたずねたり、といったことがしたくなるのです。その過程を子どもと共に経験することが大切です。そこに、「拡げる」活動が始まります。

活動が豊かになると、子どもたちはしだいに考えや気づきを「深める」ようになっていきます。これまで調べたことや体験した一つ一つのことが、お互いにつながっていることを理解し始めます。虫などの生き物の生き方や、雑草の強さなどが、人間としての生き方や自分の強さに重なったり、収穫の喜びが生きる喜びに、そして伝統文化の理解につながったりするのです。そして、山や川の豊かさが、自分たちだけでなくあらゆる生き物を育てていることを、身をもって感じていくことでしょう。「気づく」「拡げる」「深める」を意識して、継続的な活動をすることで、系統性があらわれてきます。そこまで根気よく課題に取り組むことが肝要です。



## 自律して「うごく」ことのできる市民を育てる

ここで大切なのは、「気づく」「拡げる」「深める」過程での活動の主導権を「子どもに返す」ということです。子どもたちに「正解を教える」のではなく、気づきや心が動いたことについて「良い質問をする」「問いかける」ことを目指しましょう。そうすることで、自律して「うごく」ことのできる子どもたちが育ってきます。環境学習をとりまく世界の動きとして、「環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む」ことを目指した「ESD（持続可能な開発のための教育：Education for Sustainable Development）」があります。ESDは、まず自律心や判断力、責任感といった人間性を育むこと、そして人や環境との「かかわり」、「つながり」がもてる人間を育むことを目指しています。知識を身につけるだけでなく、知識や行動を通して幼児期に身につける自律心や責任感、かかわる力やつながる心が、三つ子の魂として大人になっても残っていくのです。



## 未来につながる今を創る

幼児期の環境学習は、未来につながる今を創る気持ちをもつことが大切です。環境学習の実践の中から失敗することから学んだり、人とのつながりを大切にしたり、考え続けたりすることで、やがて環境や周りの人々のおかげで自分が生きていることを実感し、感謝できるようになってきます。「気づく」、「拡げる」、「深める」ことで得たことは、やがて子どもたちの未来へとつながっていきます。

意図的・系統的に

プログラムを作り込んだ事例

P16～  
ひょうごエコっこ育成事業<sup>(※1)</sup>モデル園の事例を題材に、意図的・系統的なプログラムの組み立てを解説

場所（園庭）を作り込んだ事例

P48～  
園庭での自然体験に力をいれている阪神間の園の事例を題材に、園庭の環境構成を解説

※1 ひょうごエコっこ育成事業

生涯にわたる人間形成の基礎が培われる幼児期において、ふるさとの自然環境の保全に対する意識や環境に配慮した生活習慣を育むため、環境学習のモデルとなる取組を行う幼稚園・保育所・認定こども園を「ひょうごエコっこ育成事業モデル園（エコランド）」として指定(30園)し、その成果の普及啓発を図りました。(H26～H27)